1.　件名：原子力安全推進協会との情報交換に係る面談(第 38 回定例情報交換会)

2.　日時：令和2年 12 月 17 日（木）15:00～16:30

3.　場所：原子力規制庁　8階会議室（全参加者 TV 会議システムを利用）

4.　出席者

原子力規制庁　原子力規制企画・基盤課　片岡専門職、飛田専門職、坂本係員

原子力安全推進協会　システム基盤部長（執行役員）　他 3 名

5.　要旨

1）各機関からの情報提供等

- 最近のスクリーニング活動状況報告(原子力安全推進協会)：
  配布資料 1 を用い、原子力安全推進協会から、国内プラントに水平展開すべき海外の事故・トラブル事例の選定とその理由について説明を受けるとともに、意見交換を行った。
- 国内外の事故・トラブルに係る情報に関する質問事項への回答：
  配付資料 2 を用い、原子力安全推進協会から、国内外の事故・トラブルに対する同協会や国内事業者の見解・対応状況について詳細な説明を受けた。
- 最近のスクリーニング活動状況報告(原子力規制庁)：
  配布資料 3 を用い、原子力規制庁より国内外の事故・トラブル事例のスクリーニング状況の説明を行った。

2) その他

- 今後の定例会合の役割について：
  原子力規制庁より、欧州連合 Joint Research Center で行われた国外原子力発電所の特徴的な運転経験の事象分析例を紹介した。原子力安全推進協会から、同協会においても国内原子力発電所の事象分析を行っているが、重要度文書等として国内事業者に周知することを目的とした非公開情報であるため紹介は難しい旨の説明があった。議論の活性化に向けた方策については、引き続き協議していくことが合意された。

6.　配布資料

[1] JANSI におけるスクリーニング状況全般（資料 1）

[2] 定例情報交換会御質問事項への回答（資料 2）

[3] 第 43 回技術情報検討会配付資料（1次スクリーニング結果（案））
https://www.nsr.go.jp/data/000332783.pdf